



平成 28 年 5 月 16 日

各 位

会 社 名 東 洋 証 券 株 式 会 社  
代 表 者 取 締 役 社 長 大 畠 勝 彰  
(コード：8614、東証第1部)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 部 長 松 本 誠  
(Tel 03-5117-1121)

### 平成 28 年 3 月 期 の 期 末 剰 余 金 の 配 当 に 関 す る お 知 ら せ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり平成 28 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当について決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 配当の内容

|              | 決定額   | 直近の配当予想<br>(平成 28 年 3 月 14 日公表) | 前期実績<br>(平成 27 年 3 月 期末)      |
|--------------|---|---------------------------------|-------------------------------|
| 基準日          | 平成 28 年 3 月 31 日                                | 同左                              | 平成 27 年 3 月 31 日              |
| 一株あたり<br>配当金 | 13 円 00 銭<br>(普通配当 7 円 00 銭)<br>(記念配当 6 円 00 銭) | 同左                              | 12 円 00 銭<br>(普通配当 12 円 00 銭) |
| 配当金総額        | 1,060 百万円                                       | —                               | 1,000 百万円                     |
| 効力発生日        | 平成 28 年 6 月 1 日                                 | —                               | 平成 27 年 6 月 3 日               |
| 配当原資         | 利益剰余金   | —                               | 利益剰余金                         |

#### 2. 理由

当社は、株主のみなさまに対する利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置付け、利益配分にあたっては、経営基盤の確立のための内部留保の充実に配慮し毎期の業績を反映しつつ、株主資本と収益環境の状況を総合的に勘案し、年 1 回の剰余金の配当や機動的な自己株式の取得により株主のみなさまに利益の還元を実施することを基本方針としております。また、剰余金の配当の水準については、配当性向年間約 30%を目安としつつ、安定性にも配慮し分配可能額に占める割合を指標としております。

この方針のもと、平成 28 年 3 月 期 の 期 末 配 当 に つ き ま し て は、平成 28 年 3 月 14 日の公表どおり、一株あたり普通配当 7 円 00 銭、また、本年 12 月に創業 100 周年を迎えますことから、株主のみなさまの日頃のご支援に感謝の意を表し、記念配当 6 円 00 銭の合計 13 円 00 銭といたします。

以 上

(ご参考)年間配当の内訳

| 基準日                 | 一株あたり配当金  |           |
|---------------------|-----------|-----------|
|                     | 期末        | 年間        |
| 当期実績(平成 28 年 3 月 期) | 13 円 00 銭 | 13 円 00 銭 |
| 前期実績(平成 27 年 3 月 期) | 12 円 00 銭 | 12 円 00 銭 |